

# 総合シートの見方

第三次御殿場市総合計画前期基本計画における事業の位置付けを、政策番号及び政策名で示しています。複数の政策に関連する場合は、関連政策についても同様に示しています。

事業の実施に関するこれまでの見直しや改善などの実績、経過を示しています。

毎年度の事業内容の具体的な実績数値などを示しています。

事業の経費や、事業の必要性、有効性、効率性を判断する数値、実績、成果等をグラフ化し、3年度分比較を示しています。

必要性、有効性、効率性の三つの観点別評価は、事業担当者が4点満点で評価したものを星の数で示しています。  
 【観点別評価の考え方】  
 必要性  
 市民、社会のニーズは高いか、緊急性はあるか、市が関与することは妥当か、等  
 有効性  
 意図した成果が上がっているか、サービスは向上したか、手段は適しているか、等  
 効率性  
 コスト削減が出来たか、受益者負担は適当か、手順は最適か、等

事務事業名		整理番号	-
所管		内線	

## 事務事業の位置付け

期間	平成 年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 政策	関連政策	

## 事務事業の内容

目的 (何のために)	事業の内容を目的、対象、手段、成果に分けて整理し、事業の内容を具体的に分かりやすく示しています。
対象 (誰・何を)	
手段 (どのようなやり方で)	事業の背景は、地域の社会情勢や市民の生活条件などの現状把握及びそこから導かれる行政の課題について、または事業開始時の状況把握と当時の行政の課題及び事業開始後現在に至る状況の推移や事業を実施してきた経緯を示しています。
成果 (どのような状態にしたいか)	住民の意向は、市民の要望や意見をどう把握し、どのように事業に反映させているかを示しています。
事務事業の背景・住民の意向見直し改善の経過	直接経費と人件費を合わせ、投入コストとしてグラフに示しています。人件費は平均賃金を基に算出しています。

## 事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度		<input type="checkbox"/> 直接経費(上段) <input type="checkbox"/> 人件費(下段)
平成17年度		
平成18年度		

## 評価指標

1	一次評価は、所属長が担当者の観点別評価を総合的に判断し、AからDの4段階で評価し、星の数でも示しています。また、判断理由を右のコメント欄に示しています。 【一次評価の判断基準】 A: 順調に進み、想定した成果も上がっており、特に課題もなく効率的で手段、対象も妥当な事業 B: 順調に進み、想定した成果も上がっているが、コストなどまだ改善余地のある事業 C: 前年並みの実績は残したものの、思うような進捗が見られず、事業の見直しを必要とする事業 D: 思うような進捗が見られず、事業の統合や廃止に向けた検討など、大きな見直しを必要とする事業	H16	H17	H18	H0目標
---	--	-----	-----	-----	------

事務事業の評価			コメント		今後の方向性
観点別・一次評価(担当)	必要性	有効性			
観点別評価					
一次評価			所属長が、一次評価と共に事務事業の進むべき今後の方向性を継続、手段改善、拡大、縮小、統合、休廃止、終期設定、完了の8項目により判断しています。		今後の方向性
二次評価(行政評価委員会の評価)			コメント		今後の方向性
二次評価			庁内の次長、課長級の職員で構成する御殿場市行政評価委員会が、総合評価と同じ判断基準で評価し、それを星の数でも示しています。また、判断理由を右のコメント欄に示しています。		御殿場市行政評価委員会が、二次評価と共に事務事業の今後の方向性を判断しています。
<b>改革プラン</b>					
平成19年度からの対応					
平成20年度以降の対応					
改革により予想される成果					

事業の評価から導き出された課題に対する対応策及びその改革によって予想される成果を示しています。